

第30回 太田ステージ研究会のご案内

日時：2020年1月25日(土) 10:00～17:00

場所：北とぴあ 7階 第2研修室 (東京都北区王子1-11-1)

参加費：会員 3,000円 非会員 4,000円

太田ステージのこれまでとこれから ～さらなる発展を求めて～

太田先生が亡くなり約1年が経ちました。

改めて太田ステージ研究会の会則を開くと、「本会は共通の評価の軸として太田の Stage を用いて、学際的・多元的立場から、認知・情緒・行動の発達と障害についての研究や実践を総合的に深めることを目的とする」、また、「本会は、医学・心理・教育・福祉などの各分野で本研究の目的に賛同する者をもって構成する」とあります。異なる専門性をバックグラウンドに持ちつつ、立場を越えて、発達の遅れや偏りのある方々にとって本当に良いことをみんなで考える、そのような趣旨で設立したこの会を、太田先生はとて大切にしていられたいました。太田ステージは様々な方との語り合いの中で深められてゆく、ということを確認する年1回の機会になっていたのかもしれませんが。

教育や福祉の現場で関心が持たれることが増えてきた今、この太田ステージの理論と実践を、私たちはどのように受け継ぎ、展開していけるでしょうか。

太田先生は、発達障害の本態が科学的に解明され、それが多職種の中で共有されることを追求し続けておいででした。そのことをふまえ、今回は3題の教育講演を企画いたしました。

桑原先生は、自閉スペクトラム症の生物学的研究が現在どのように進んでいるかをご紹介します。立松先生は、教育の中で太田ステージがどのように導入され活用されてきているかをお話しくださいます。原先生は、太田先生が日本の発達障害医療においてどのような貢献をされたか、今後の展開も含めてまとめてくださいます。いずれの先生も太田先生と子どもの心の発達について熱く議論を交わし、刺激を受けながら過ごした時期があり、ちょっと面白いエピソードやじんわりと心の温まるお話などもお聞きできるのではと楽しみにしております。

太田先生の偉業を振り返るとともに、今後、医学や心理、教育、福祉など様々な分野で、あるいはそれらを組み合わせた学際的な研究などにおいて、太田ステージが示すような発達のなアプローチをどのように発展させていけるかを考える機会になれば幸いです。ぜひご参加ください。

教育講演1

「自閉スペクトラム症の生物学的研究」

桑原齊先生(浜松医科大学精神医学講座)

教育講演2

「教育における太田ステージの歩み」

立松英子先生(東京福祉大学)

教育講演3

「太田の T サイン再考: 自閉症児の臨床経験に基づく知見一群間比較から経時的変化へ」

原仁先生(社会福祉法人青い鳥 小児療育相談センター)

司会：金生由紀子(東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野)

プログラム

9:30～ 受付

10:00～ 開会の挨拶

10:10～12:15 教育講演

司会：金生由紀子(東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野)

教育講演1 「自閉スペクトラム症の生物学的研究」
桑原斉先生(浜松医科大学精神医学講座)

教育講演2 「教育における太田ステージの歩み」
立松英子先生(東京福祉大学)

教育講演3 「太田のTサイン再考:自閉症児の臨床経験に基づく知見—群間比較から経時的変化へ—」
原仁先生(社会福祉法人青い鳥 小児療育相談センター)

12:15～13:30 昼食タイム

13:30～14:40 一般演題：発表 25分 討論 10分

司会：齋藤厚子(東京福祉大学)

- 1) 社会福祉法人けやきの郷の現状 —台風による水害の影響—
田崎久美子(社会福祉法人けやきの郷)
- 2) 成人期への太田ステージ評価の活用
—表象的思考段階への移行期の問題と同一ステージでの異なる対応について—
立松英子(東京福祉大学)

14:40～15:10 総会

15:10～15:25 休憩

15:25～16:35 一般演題：発表 25分 討論 10分

司会：亀井真由美(東京都立東大和療育センター)

- 3) Stage V以上(高機能)のケースへの治療教育 —御茶ノ水発達センターでの実践—
掛川弥生・瀬戸美紅子(特定非営利活動法人銀杏の会 御茶ノ水発達センター)
- 4) 自閉スペクトラム症児の保護者に対するビデオフィードバックを用いた「おうち遊び」支援の効果
石川菜津美(東京大学医学部附属病院 こころの発達診療部)

16:35～ 閉会の挨拶

17:10～ 懇親会 「豪香飯店」
JR王子駅北口徒歩1分 電話 03-5963-5785
会費 4,000円